

5月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
05/05/02 (月)	東京は連休の谷間で動意薄。開店休業状態に。北朝鮮ファクターが円の懸念材料ながら影響は限定的。欧米も目立った動意なし。スノ-発言が物議を醸したが、翌日にFOMCを控えているため動き難い。	・北朝鮮が日本に向けてミサイル発射実験を行う(1日) ・シंगाポール休場 ・4月ISM製造業景況指数53.3、3月建設支出0.5%	・黒田元財務官「人民元の調整は遅いより早期の方が望ましい」 ・スノ-財務官長官「中国による人民元の切り上げなく落胆した」	105.15 104.91 105.43 105.03	135.14 134.87 135.65 135.12	寄付 安値 高値 終値
05/05/03 (火)	東京休場のなか、アジアタイムは円が小安い。期待された人民元切り上げが見送られ、円売り要因に。欧米は比較的静かな売買。注目されたFOMCはあまりに予想通りでどちらにも動けず。	・3月の米製造業受注0.1% ・FOMCで25BPの利上げ動意、「慎重なペースで」との文言は必ずさず	・韓国紙「北朝鮮が地下核実験の準備進める」(韓国高官が後に否定) ・谷垣財務相「日中韓三ヶ国会議で人民元についても議論した」	105.02 104.86 105.36 105.08	135.00 134.92 135.70 135.26	寄付 安値 高値 終値
05/05/04 (水)	東京休場。ドル独歩安。懸念された中国での反日デモ見送りなどもあってか全般的にドル売り目立つ。欧米は行って来い。一時円売りが強まる展開も見られたが続かず。ただクロスでは円も小安い。	・豪中銀が政策金利を据え置き ・ECBが政策金利の据え置き発表 ・4月の米ISM非製造業景況指数61.7 ・米財務省が30年債の再発行検討へ	・谷垣財務相「104円台の相場、注視していくしかない」 ・ECB総裁「インフレ圧力が大幅に高まっている兆しはない」 ・中国財務相「行き過ぎた投機が人民元改革を困難にしている」	104.90 104.20 105.00 104.55	135.09 134.95 135.80 135.34	寄付 安値 高値 終値
05/05/05 (木)	東京休場。依然として根強い人民元金利上げ観測から薄商いのなか、円が小じっかり。欧米は揉み合い。S&Pの発表から米株が大きく下落。ドルも一時連られたが大勢には影響なし。	・NYにある英領事館で爆発発生、との一部報道あり ・第1四半期非農業部門労働生産性2.6% ・S&PがGMとフォードを投資不適格級に格下げすと発表	・谷垣財務相「中国は為替について自ら決断する必要がある」 ・FRB議長「ヘッジファンドのリスク評価は困難なときもある」	104.55 104.21 104.68 104.45	135.34 134.90 135.61 135.35	寄付 安値 高値 終値
05/05/06 (金)	東京は連休の谷間に加え、夜半の米雇用統計待ちの雰囲気でも動意薄。レンジ内での一進一退に。欧米は結果ユーロ独歩安。米雇用統計が良好でドル買い優勢。とくに対ユーロでクロスでの円売り目立つ。材料と言うよりチャートの要因から。	・前日の英総選挙は与党労働党が勝利、ただ議席は大幅減 ・4月の米失業率5.2%、同費農業者雇用数27.4万人 ・マンハッタン橋で不審物発見、一時封鎖される(テロ思惑も)	・中国財務省事務次官「人民元に対する切り上げ圧力は強くない」 ・米財務長官「米国の経済ファンダメンタルズは力強い」 ・著名米情報会社が「次回FOMCで50BP利上げされる可能性」	104.65 104.54 105.12 105.05	135.47 134.40 135.74 134.64	寄付 安値 高値 終値
05/05/09 (月)	東京は早朝に小幅円安。一部で期待されていた先週末の人民元切り上げがなく円の失望売り優勢。欧米に円は続落。とくに対ドルも対ユーロなどクロスでの円売り目立つ。材料と言うよりチャートの要因から。	・英フィッチが日本のソリタリ価格付けアウトブックをネガティブから安定的に変更 ・3月の英鉱工業生産 1.2%	・奥田日経連会長「日米自動車問題が貿易摩擦になるとは考えていない」 ・米財務長官「中国は為替制度改革を実施する時期にある」	105.33 105.14 105.69 105.63	134.98 134.67 135.70 135.65	寄付 安値 高値 終値
05/05/10 (火)	東京は基本揉み合いながらもドル小幅高。海外勢のドル買い意欲強く押し目買いが活発。欧米は一転ドル安。米雇用統計に関するウワサに加え、芽えない米株が嫌気された。	・NZで最近テロの脅迫あり、との一部報道あり ・先週の米雇用統計は特殊要因から過大評価されている、とのウワサ ・ヘッジファンドがクレジットデリバティブで損失とのウワサも	・谷垣財務相「人民元は中国が適切には判断」	105.75 105.38 105.96 105.55	135.84 135.62 136.08 135.96	寄付 安値 高値 終値
05/05/11 (水)	東京でドルは小じっかり。早朝こそ日経朝刊の人民銀副総裁発言で円高となるも続かずに反転へ。東京引け直後に報じたCDニュースから円が短時間で急騰。一時105円を割り込んだが結局行って来い。	・3月の景気先行指数30.0%、4月末外貨準備高58.83億ドル増、1～3月の為替介入額ゼロ ・3月の米貿易赤字 550億ドル ・米ホワイトハウスに未確認飛行機接近、との一部報道あり	・中国人民銀行副総裁「人民元改革、技術的な準備は完了」 ・チャイナデイルーニュース「中国当局、人民元の制度改革を来週発表へ。変動幅は1年後に6.03%(その後当局者から否定コメント相次ぐ)」	105.44 104.85 105.95 105.75	135.79 135.00 136.25 135.52	寄付 安値 高値 終値
05/05/12 (木)	東京はドル全面高の様相。人民元切り上げ期待でメークされた円ロング・ドルショート巻き戻し活発。欧米でもドル買い流れ止らず。とくに対円よりも対ユーロでのカバーが活発。フォード格下げなどは影響なし。	・北朝鮮が核燃料棒取り出し ・ムーティーズがフォードの債務格付けをBAA1からBAA3に引き下げ ・4月の米小売売上高1.4%	・渡辺財務官「米自動車業界の不振と為替は関連していない」 ・ファーガソンFRB副議長「ヘッジファンドが金融の不安定化の原因ではない」	105.73 105.73 106.93 106.77	135.37 135.35 135.89 135.54	寄付 安値 高値 終値
05/05/13 (金)	東京は揉み合い。人民元切り上げについて否定的なコメントがなされたが大きな円売りには繋がらず。欧米で再びドル高が進行。米株は芽えない値動きとなったがリバトリと見られるドル買い活発化した。	・3月機械受注1.9% ・ハリケーン、ロシア債務150億ドル早期返済で合意 ・3月の米企業在庫0.5%、5月ミシガン大インデックス85.3	・中国人民銀総裁「18日の通貨切り上げはない」 ・米財務長官「いまこそ中国が通貨問題で行動するとき」	106.75 106.67 107.44 107.30	135.37 135.11 135.73 135.55	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで